

岩下壯一 海峽 司祭。明治二十二年九月十八日東京生れ、昭和十五年十一月二日歿（二八八九―一九〇〇）。實業家岩下清周の長男。明治二十四年受洗。東京帝國大學哲學科卒。大正十四年司祭となり、カトリック思想の擴大に努めた。また昭和五年神山復生病院院長となりてハンセン病患者の救済にも當つた。

著書に、『愛と理性と戦争―加特力教會と徴兵忌避事件』（大正十五年八月十五日カトリック研究社「カトリック叢書」）、『アウグスチヌス神の國』（昭和十年十一月五日岩波書店「大思想文庫」）、『チヌス神の國』（二十二年四月五日岩波書店）、『信仰の遺産』（昭和二十六年十月二十日の岩波書店）、『中世哲學思想史研究』（昭和十七年六月十日岩波書店）、『岩下壯一全集』全九卷別卷一卷（昭和二十六年刊）等。井伊義勇著『復生の花園 救済の慈父・前復生病院院長岩下壯一 神父の生涯』（昭和十六年六月）（二十一）の『路書苑』がある。

